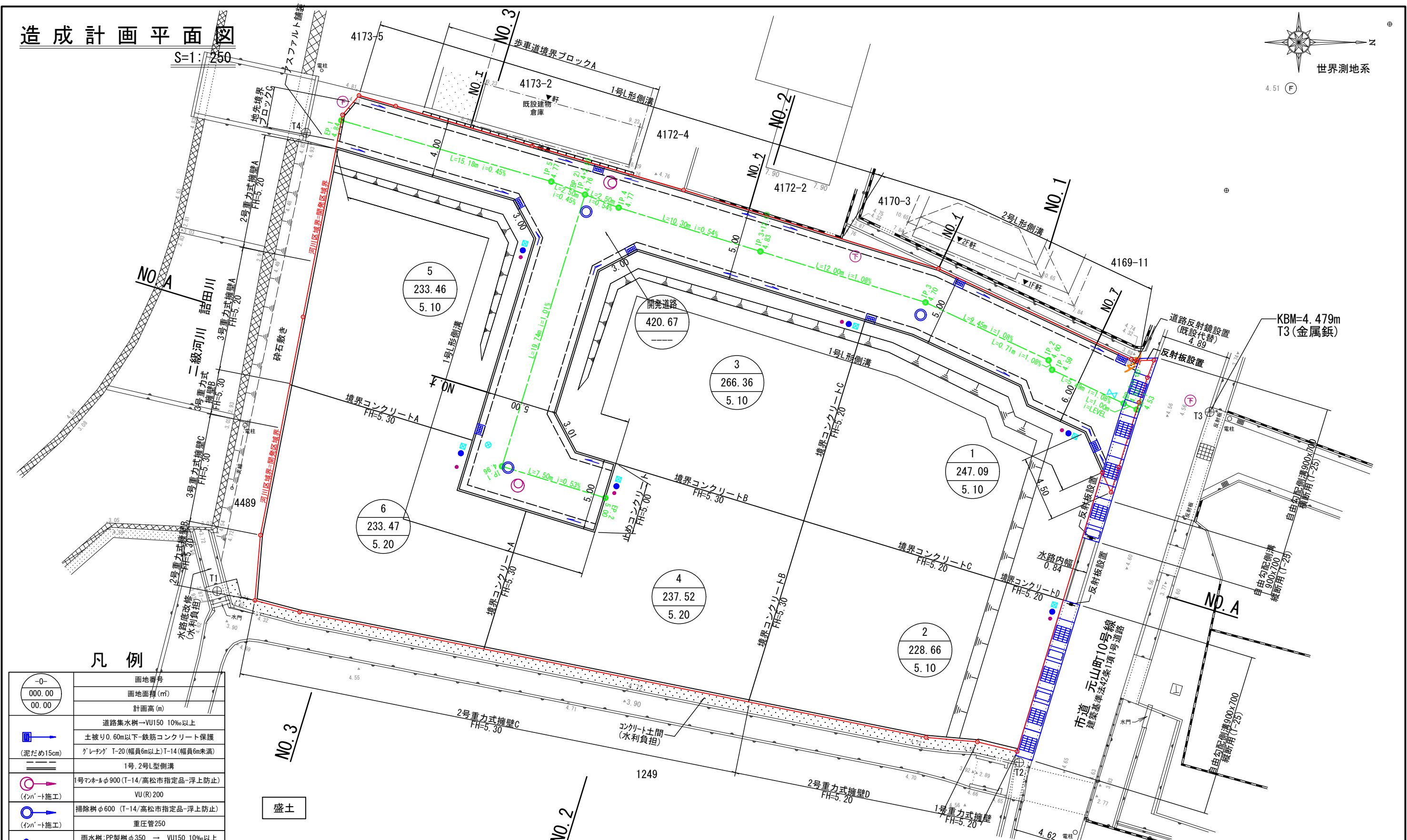
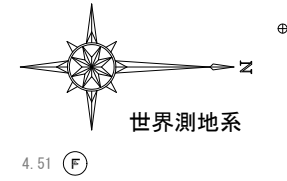


# 造成計画平面図



## 凡例

00.00	画地番号
00.00	画地面積 (m <sup>2</sup> )
	計画高 (m)
	道路集水樹→VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-鉄筋コンクリート保護 ゲレチン T-20 (幅員6m以上) T-14 (幅員6m未満)
	1号, 2号L型側溝
	1号マンホールφ900 (T-14/高松市指定品-浮上防止) VU (R) 200
	掃除樹φ600 (T-14/高松市指定品-浮上防止) 重圧管250
	雨水樹: PP製樹φ350 → VU150 10%以上 土被り0.60m以下-鉄筋コンクリート保護
	1, 3, 4, 5, 6号地 汚水樹: フライイン <sup>®</sup> -トラスφ200→VU150 10%以上
	2号地 汚水樹: フライイン <sup>®</sup> -トラスφ300→VU150 10%以上 土被り0.60m以下-鉄筋コンクリート保護
	給水管HVP20・量水器
	水道管仕切弁
	流水方向
	開発区域

注記 開発協議は最終樹から一次放流先までとする。  
 VU (R) とはリブ付硬質塩化ビニル管である。  
 本管上での取付間隔は1.0m以上とすること。  
 マンホール接続部は可とう継手を使用すること。  
 管又は水路が交差する場合、クリアランスは原則30cm (最低10cm) 確保する。  
 宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること。  
 クリアランスや土被りが確保できない場合は、さや管又は全巻を行うこと。  
 宅内排水管の樹間隔は管径の120倍以内とすること。  
 法面は30°を超えないように仕上げること。  
 1<sup>6</sup>号地の予定建築物は、一戸建て住宅とする。  
 標高の表示は、すべてTP表示としている。  
 開発区域へ構造物の設置が無い場所には、金属板を設置し、区域を示す。

所在	高松市木太町字上川東		
図面名	造成計画平面図		
縮尺	S=1:250	図面番号	02
作製年月日	平成 30年 10月 12日		
作製者	高松市三条町278番地12 株式会社高松合同企画 土地家屋調査士・測量士 野田 明良		